

ふれてみよう☆わたしたちの

のぼりべつしみんけんしょう

登別市民憲章



挿絵：日本工学院北海道専門学校

CGデザイナー科イラスト専攻 劉元舜 りゅうげんしゅん

のぼりべつ し 民けんしょう
登別市民憲章

(昭和43年9月20日^{せいてい}制定)

わたしたちは 古い^{れきし}歴史と
美しい^{しぜん}自然に恵まれた^{のぼりべつ}登別の^{しみん}市民です
ここに わたしたちの心がまえを定めて
よりよいまちをつくることに^{つと}努めます

- 1 心身をきたえよく^{はたら}働いて
活気あふれる^{ゆた}豊かなまちをつくりましょう
- 1 親切をつくし きまりを守って
明るく住みよいまちをつくりましょう
- 1 自然^{しぜん}を^{あい}愛し 力をあわせて
緑と空気と太陽のいっぱいある
きれいなまちをつくりましょう
- 1 ^{みらい}未来をつくる青少年の
健全^{けんぜん}な^{ゆめ}夢の育つまちをつくりましょう
- 1 ^{きょうよう}教養をつみ ^{しや}視野を広げて 平和で
文化のかおり高いまちをつくりましょう

のぼりべつ し 民けんしょう
登別市民憲章は、よりよいまちをつくるための^{きほんてき}基本的な^{しみん}市民の^{こころがま}心構え
として^{せいてい}制定され、^{げんざい}現在も^{しみん}市民の心のよりどころとなっています。
この冊子では、^{さっし}市民憲章の^{しみんけんしょう}各章に^{かくしょう}込められた^こ意味と^く日々の暮らしの中
で^{じっせん}実践すべき^{ことがら}事柄について、イラストをまじえて^{かいせつ}分かりやすく解説しま
す。

1章 心身をきたえよく働いて 活気あふれる豊かなまちをつくりましょう



よく学び 心と体をきたえ 元気でいきいき過ごしましょう



この章のキーワードは『いきいき』です。

市民みんなが心も体も健やかで、日々の活動に誇りと喜びを持ち、豊かで安定した生活を送れるまちにしたいという願いを表したものです。

『活気あふれる』とは、単なる『元気よく』とは違い、意欲的に活動する頼もしい生活態度を表現しています。

実践例

- スポーツをして体を動かそう
- 自分から進んで勉強しよう

2章

親切をつくし きまりを守って 明るく住みよいまちをつくりましょう

しゅし
主旨

やくそく
約束を守り やさしい気持ちで
ともだち
家族や友達と過ごしましょう



この章のキーワードは『思いやり』です。

しみん
市民一人ひとりが、家族や友人をはじめまわりの人に対して思いやりをもっ
て、だれのためになることをすすんで行うことで、のぼりべつ
登別はもっと暮らしやす
く、ぬくもりのあるまちになっていきます。

また、ほりつ やくそく
法律や約束事がよく守られることも欠かすことはできません。

じっせんれい
実践例

- だれにでも親切で心やさしい人になろう
- 時間ややくそく
約束をしっかりと守ろう

3章

自然を愛し 力をあわせて 緑と空気と太陽の
いっぱいあるきれいなまちをつくりましょう



自然を大切に し 互いに助け合い
きれいなまちをつくりましょう



この章のキーワードは『**自然**』です。

登別の美しい自然は、季節の移り変わりとともに、豊かな彩りを見せてくれます。

自然に接し、自然の素晴らしさを学び、支え合いながら自然を守る心をはぐくむことが大切です。人と自然が調和した美しいまちを次世代へ継承するため、できることから取り組んでみましょう。

実践例

- 地域の清掃活動に参加しよう
- 家庭や学校で多くの花を育てよう

4章

未来をつくる青少年の 健全な夢の育つまちをつくりましょう



未来に向かい 大きな希望と夢を持って生活しましょう



この章のキーワードは『**未来**』です。

登別が今後も住みよいまちであり続けるためには、子どもが自身の将来を見据え、健全な夢を抱き、夢の実現に向けて努力するとともに、学校や地域の多くの人との交流やさまざまな経験をすることで、自分が住むまちへの誇りや愛着、そして豊かな心を培うことが大切です。

実践例

- 失敗をおそれず何事にもチャレンジしよう
- 自分の夢に向かってがんばろう

5章

きょうよう じょうや
教養をつみ 視野を広げて 平和で
文化のかおり高いまちをつくりましょう



けいけん
何事も進んで経験し
ゆた
豊かな心をはぐくみましょう



この章のキーワードは『**学び**』です。

しみん 一人ひとりがゆたかな生活を送るためには、げいじゆつ 芸術や文化、スポーツに
ふ 触れるなど、さまざまなけいけん 経験を積むことでかんせい 感性やそうぞうりよく 創造力をみが
や 磨くとともに、視野をを広げながらせいちよう 成長していくことが大切です。

しょうがい 生涯を通じて毎日の生活を学びの場としながら、じこ 自己をみが つづ 磨き続けましょう。

じっせんれい 実践例

- ちいき 地域の行事にさんか 参加しよう
- 文化、げいじゆつ 芸術、しょうしょ 読書にせっきよくてき 積極的にかんしん 関心を持とう

市章

(昭和36年10月1日^{せいてい}制定)



力強く伸びる市の将来を表現したもので、登別の頭文字「の」を単純かつ明瞭化し、円内左右の空間は市勢伸長の二大基盤である工業、観光の意義を含め、中心の長三角形は限りなく躍進する登別市の発展を希ったものである。



市花 キク



市花木 ツツジ



市木 プラタナス

(昭和47年12月28日制定)

ふれてみよう☆わたしたちの 登別市民憲章

発行月 令和2年3月
発行者 登別市
編集 登別市／登別市民憲章推進協議会
協力 日本工学院北海道専門学校